

住民公開講座 (第103回在宅ケア研究会)

在宅医療のススメ

～さいごまで「自分らしく」あるために～

昭和のころまで日本には自宅での「看取り」の文化が残っていました。

最近では、ほとんどの人が病院や施設で亡くなっておられ、医療や介護の専門職が死にゆく人のケアをしています。

最期まで自分がのぞむところで過ごすには、どうしたらよいのでしょうか。

「人生の最後の時間を住み慣れた自宅で、家族と過ごすことは大事なことです。私たちは、その『人生最後の時間』の病気の苦痛を和らげるお手伝いができればと思っています。」と、在宅医療に積極的に取り組まれている医師より、日々の実践を紹介していただきます。



◆ 日 時：平成30年10月20日（土）

午後2時～午後4時（受付：午後1時30分～）

◆ 講 師：このさかクリニック院長 ニノ坂 保喜 先生

◆ 会 場：八女筑後医師会 講堂（八女市本村656-1 電話：0943-22-4141）

◆ 入場料：無料

◆ 定 員：先着150名（お断りする場合にのみ連絡いたします）

※受講申し込み方法は裏面をご確認ください

◆ 問い合わせ先：八女筑後医師会在宅医療介護連携室（電話：0943-30-3331 宮原）

ニノ坂先生のプロフィール

昭和52年に長崎大学医学部卒業。同年6月長崎大学1 外科入局

昭和54年から大阪府立病院救急部勤務を経て、医療法人池友会下関カマチ病院、

福西会川浪病院など勤務。平成8年、「このさかクリニック」（福岡市）を開設、現在に至る。

平成26年：第3回日本医師会赤ひげ大賞受賞

（日本医師会赤ひげ大賞：地域に密着して人々の健康を支える医師に対して贈られる賞）

日本ホスピス在宅ケア研修会理事、ハングラデシュと手をつなぐ会代表。

著書：

「さいごまで「自分らしく」あるために ～ホスピスの現場から～」 山崎章郎・ニノ坂保喜・佐藤健・米沢慧 春秋社

「逝くひとに学ぶ」ニノ坂保喜・後藤務爾 木星舎

「市民ホスピスへの道 ～いのちの受けとめ手になること」 山崎章郎・ニノ坂保喜・米沢慧 春秋社

「病院で死ぬのはもったいない ～いのちを受け止める新しい町へ」 春秋社



※日本医師会生涯教育制度 2単位 CC：10.13.80.81

【主催】八女市 筑後市 広川町 八女筑後医師会

住民公開講座 (第103回在宅ケア研究会)

参加申込書

10月9日(火)までにお申し込みください

電話 0943-30-3331

FAX 0943-30-3332

お住まいの地域 八女市 ・ 筑後市 ・ 広川町

氏 名 (ふ り が な)	電 話 番 号

※申し込み欄が足りない時は、お手数ですが、コピーしてご使用ください。

会場までの案内図

駐車場は医師会講堂の裏です

